

美瑛富士・携帯トイレ試行導入2年目の活動報告

山のトイレを考える会

1. 2年目の取り組み

2016年も北海道の山岳団体等で構成する「美瑛富士トイレ管理連絡会」（以下 美瑛トイレ連絡会）のご協力により、6月26日～9月25日までの3ヵ月間、仮設携帯トイレブース（テント型）の設置、ならびに点検パトロールを実施することができました。点検パトロール予定日は荒天の日が多く、中止や日程の変更もありましたが、全部で10回実施することができました。

また、9月2日ごろ、強風で仮設携帯トイレブースが倒壊し、9月11日に再設置することが出来ましたが、約10日間、提供出来ない期間がありました。

昨年の点検パトロールと異なるところはアンケート調査を追加したことでした。環境省でも実施することになり、私たちのアンケートはその簡易版です。環境省の調査日と重なったことや荒天が多かったことにもかかわらず36枚が回収できました。

維持管理にご協力して頂いた道内山岳団体等の皆さま、イニシアチブをとって頂いた環境省東川自然保護官事務所、そして使用済み携帯トイレの処分を引き受けてくれた美瑛町に感謝申し上げます。

また、2015年と同様に十勝岳温泉にも回収ボックスが設置できました。回収・処分に協力いただいた上富良野町の関係者の皆さまにも感謝申し上げます。

2. 2016年度取り組みの役割分担

役割分担は2015年度と同様に実施しました。

仮設携帯トイレブース(テント型)の設置	環境省北海道地方環境事務所
携帯トイレ回収ボックスの設置	山のトイレを考える会
携帯トイレブース及び周辺の点検・清掃	美瑛富士トイレ管理連絡会(※1)
回収ボックスの維持管理	美瑛町・びえい白金温泉観光組合 上富良野町・上富良野振興公社
使用済み携帯トイレの回収・処分	美瑛町・上富良野町
取り組みの広報	関係機関(※2)・山のトイレを考える会

(※1)北海道内の山岳関係団体等・山のトイレを考える会で構成

(※2)環境省北海道地方環境事務所、林野庁上川中部森林管理署、北海道上川総合振興局、美瑛町

3. 2016年度点検パトロール等の実施日と担当団体

- ・5月1日（日）…白金温泉公衆トイレ裏に携帯トイレ回収ボックスを設置（美瑛町等）
- ・6月13日（月）…十勝岳温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスを設置（上富良野町等）
- ・6月26日（日）…仮設携帯トイレブース設置：12名
（環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等）
- ・7月16日（土）～17日（日）…白老山岳会：12名

- ・7月23日(土) …札幌山岳連盟：5名
- ・7月31日(日) …豪雨のため中止(大雪山国立公園パークボランティア連絡会)
- ・8月2日(火) …日本山岳会北海道支部：3名
- ・8月6日(土) …東川自然保護官事務所：1名
- ・8月11日(木) …山のトイレを考える会：12名(携帯トイレ体験ツアー)
- ・8月27日(土) …道北地区勤労者山岳連盟：10名
- ・9月4日(日) …道央地区勤労者山岳連盟：7名
- ・9月11日(日) …仮設携帯トイレブース再設置：9名(環境省・山のトイレを考える会等)
- ・9月12日(土) …北海道山岳連盟：2名
- ・9月16日(金) …北海道山岳ガイド協会：3名
- ・9月25日(日) …仮設携帯トイレブース撤収：8名
(環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等)
- ・10月17日(月) …十勝岳温泉登山口の携帯トイレ回収ボックス撤収(上富良野町)
- ・11月9日(水) …白金温泉街の携帯トイレ回収ボックスを撤収(美瑛町)

のべ84名



美瑛富士避難小屋の仮設携帯トイレブース



白金温泉公衆トイレ裏の回収ボックス

4. 点検パトロール日の割り当て作業

山岳団体等のパトロール日の割り当てについては、山のトイレを考える会が事務局となって「連絡会メーリングリスト」によって行いました。2015年と同様、スムーズに担当が決まりました。

5. 広報活動について

- ・PRチラシ2,000枚、A3ポスター100枚作成
(配布先) 山トイレ会員、道内山岳団体、登山用品店(秀岳荘3店、石井スポーツ、モンベル3店、好日山荘、池内、パドルクラブ、北嶺舎、旭川山工房、函館自然倶楽部)、ビジターセンター(旭岳・層雲峡・上士幌)、白金観光センター、白銀荘、凌雲閣、道内行政機関など
- ・北海道新聞で5回記事を掲載(「」は記事タイトル)
3月30日「登山に携帯トイレを」。7月27日岩村代表のコラム「山の日に携帯トイレ体験を」。8月10日「あす初の祝日山の日」。8月17日「いまを撮る(登山の環境整備・

- 自分たちで)」。8月26日「山のトイレ清掃大変さを知って」
- ・HBCラジオ：7月21日「カーナビラジオ」で岩村代表が出演PR。
7月23日「山ガール温泉ガール」で体験ツアーについて放送
 - ・個人開設のホームページ等に広報を依頼
人気のある山のホームページやブログ開設者、ヤマレコ投稿者をお願いして、美瑛富士やオプタテシケ山の山行報告に美瑛富士避難小屋では携帯トイレを使用する広報をお願いしました。また、facebookにも頻繁に投稿しました。

6. 地元での携帯トイレ販売について

- ・地元では次の個所で携帯トイレの販売に協力していただきました。
白金温泉・永井商店、大雪山白金観光ホテル、湯元白金温泉ホテル、ホテルパークヒルズ、凌雲閣、白銀荘
- ・8月10日（携帯トイレ体験ツアーの前日）に、山のトイレを考える会で凌雲閣、白銀荘、白金観光センター、永井商店にポスター掲示のお願いと携帯トイレ販売協力に対するお礼を兼ねて挨拶に行ってきました。

7. 携帯トイレ体験ツアー

美瑛富士の取り組みを多くの人に知っていただくことを目的に8月11日（山の日）に「携帯トイレ体験ツアーin美瑛富士避難小屋」を実施しました。参加者は5人と少なかったのですが、全員が北海道新聞の小さな募集案内を見て応募したとのことでした。

小屋周辺の清掃作業を全員で行った後、山のトイレを考える会の伊吹さんによる携帯トイレ使用方法の講習会を実施。ツアー参加者の2名が実際に体験しました。

また8月26日の北海道新聞（道北版）に掲載され、効果的なイベントだったと思います。



携帯トイレ使用方法の説明



体験ツアー参加者5人と写す

8. 強風によるテントブースの倒壊

9月2日に登山者からテント倒壊の連絡がありました。9月4日に点検パトロールを実施した道央地区勤労者山岳連盟がテントや飛ばされた便座等を回収。9月11日に環境省と山のトイレを考える会で再設置しました。利用できなかった期間が約10日。その後の撤収日まで2週間提供することがで、迅速に対応できたと思っています。



倒壊した携帯トイレブース（9月2日）



10日後の9月11日に再設置

9. 点検パトロール実施報告

【連絡会参加団体等による報告の要約】

- 7月14日（第1回パトロールの2日前）に美瑛山岳会の内藤さんが小屋の点検補修で行った時にブース内外に放置された携帯トイレやポリ袋に入った汚物を3個回収した。
- 携帯トイレブース内の便器に直接排泄した人はいませんでした。
- 第1回パトロールでテントの下部が数か所破損していたので補修。強風で倒壊したブースの再設置では、テントの裾に厚いテント生地を被せ重石を置いた。2週間後のテント撤収時には裾の破損は全くありませんでした（設置場所はペグが抜け、固定不可）
- 期間中のティッシュの回収は82個、汚物は17箇所回収。ティッシュの回収は2015年の39個より増加している（汚物回収データはない）。広範囲に徹底して回収したためか小屋やテント泊の登山者が増加したためなのか、その要因は分かりません。
- 携帯トイレブースのカウンターは正常に計測し続け最終値は179でした。回収ボックスのカウンターは正常に計測されませんでした。その要因は分かりません。
回収ボックスに入っていた使用済み携帯トイレの数も把握しましたが、正確な総投入数は推定できませんでした。

（表）携帯トイレブースと回収ボックスのカウンター値

月/日	7/16	7/17	7/23	8/2	8/6	8/11	8/27	9/4	9/11	9/12	9/16	9/25
ブース	34	48	81	74	81	92	137	158	158	158	160	179
回収BOX	29 (2)	40 (15)	53 (7)	54 (1)	46 (3)	49 (6)	— (5)	1158 (0)	1158 —	1158 (0)	3656 (0)	1166 (4)

（ ）は回収ボックスに入っていた使用済み携帯トイレの数

- 小屋内は毎回清掃を実施。大きなゴミがあればその都度回収しました。小屋内は綺麗に清掃され、残置されたゴミも無かったとの報告が殆どでした。



便座・便器の清掃



空きと使用中の札を作成した



裾にテント布を被せて重石を置く



ティッシュと汚物の回収

- 昨年の実施報告では、回収ボックスの設置場所が分からなかったとの意見がありましたので、8月6日に環境省で公衆トイレ正面に「トイレの裏に回収BOXがあります」の掲示をしました。
- また、昨年、回収ボックスの鍵番号が分からないとの意見もありましたので、同じく8月6日に環境省で入林届箱の扉に鍵番号周知の掲示をしました。
- 回収ボックスの鍵が時々施錠されていませんでした。



回収ボックスの位置掲示



入林届箱に鍵番号周知掲示

10. アンケート調査結果

環境省のアンケート調査内容から一部を抜粋して、美瑛トイレ連絡会としてアンケート調査を実施しました。環境省のアンケート調査日と重なることも多く、天候も悪い日があったことから、回収数は36枚にとどまりました。このアンケートを環境省アンケートに加えて活かしたいと思います。ちなみに環境省のアンケート回収数は212枚でした。

11. 次年度(2017年度)の取り組みについて

2016年も環境省、美瑛町、美瑛トイレ連絡会、美瑛山岳会などの皆さまのご協力ですべて美瑛富士における携帯トイレシステムの試行実施をすることができました。

また山のトイレを考える会で山と溪谷社主催の「日本山岳遺産」に応募、美瑛富士が認定される嬉しいニュースもありました。

今年度の実施結果を踏まえて、次年度に向け問題点の洗い出し、改善に向けた対策を検討し、利用者が使い易い携帯トイレシステムの導入を目指します。

【2017年の取り組み(案)】

- (1) 美瑛富士避難小屋に携帯トイレを配置し、持参していない人に無償配布する。点検パトロール時に在庫補充。効果はティッシュの回収数を昨年と比較し評価する。費用は日本山岳遺産認定の活動助成金を充当する。
- (2) 回収ボックスの位置、鍵番号をさらに周知徹底する方法について検討する。
- (3) この施策を多くの登山者に知ってもらうための効果的な広報について2017年3月1日に予定している第18回山のトイレフォーラムで話し合う。
- (4) 白金温泉街での携帯トイレ入手個所が分かる広報を検討する。
- (5) 地元の理解を深めるため、凌雲閣、白銀荘、白金温泉観光センター等にポスター掲示、チラシ配布のお願いを兼ねて挨拶に行き協力をお願いする。
- (6) 携帯トイレの回収数の把握を誤動作し易いカウンターから手書きに変更する。

2017年度も引き続き、登山者により使いやすい携帯トイレシステムを目指し改善していきたいと思いますので、関係者の皆さまのご意見ご協力を宜しくお願い致します。

(以上)

(文責：仲俣善雄)